



北海道千歳高等支援学校
Hokkaido Chitose Support High school

令和6年度 第3号

令和6年12月20日(金)発行



「2学期を振り返って」

校長 久 富 正 規

令和6年度の2学期が終わります。8月に始まり12月までの夏から冬の季節を過ごしました。季節に応じた学習活動の他、実習を含む自分の未来を考える学習や全校生徒で取り組む学校祭など様々な学習活動を展開してきました。今年度の夏は、昨年度ほど暑くなることもなく各教室には簡易型のエアコンも設置しましたので昨年度よりは、過ごしやすく学習ができたと思いますが、暑さ対策には十分とは言えない状況です。今後、本校にも改めてエアコンが設置される計画になっていますが、それまでの間を事故がないよう教育活動を進めなければならないと考えておりますので次年度以降も御家庭に御協力をお願いすることがあると思います。引き続きよろしくお願いいたします。



さて、様々な教育活動を展開してきた2学期でしたが、2つのことについてお伝えします。

まず、本校の教育でも大きな柱となる取組である自分の将来と向き合う学習の本格的な実施です。それぞれの学年で学習内容の段階は違いますが、卒業後の生活こそが生徒自身の人生における本番です。そのスタートに向けて今の自分を知り、卒業までに何をすべきかを考え実行するための大切な時であると捉え実習のみならず、様々な学習形態の中で未来を展望する学習を重ねました。生徒のより豊かな未来の実現のためには、本校職員と様々な情報を共有したり、思いや考えを聞かせていただくなどの御家庭の御協力も不可欠と考えていますので共に生徒を支えてくださいますようお願いいたします。

二つ目は、学校運営協議会です。保護者の皆様や本校生徒にはあまり馴染みがないかもしれません。これは、簡単に説明すると「地域住民の方も学校運営に参画し、学校を応援する仕組み」で設置が義務付けられているものです。本校の保護者代表としてPTA会長にも委員を務めていただいています。今年度から千歳市とのつながりをより強固なものにしたいと考え外部の委員を5名から10名に増やして様々な立場の皆様から多くの御意見をいただいているところです。先回の協議会では、千歳空港開港100周年を控えていることから本校も何らかの形で参画できないかとの話になり、早速千歳市とこのことに係る協議が始まっています。大きく変わろうとしている千歳市の中で本校が担うべき役割が私たちが考えている以上のものであることを感じています。これらの取組は、勿論生徒の学びの充実にもつながるものです。より効果的な地域資源の活用やより必要とされる学校であるために引き続き丁寧な取組を進めていこうと考えてます。

現在、本校では、生徒の学びを一層充実できるよう教育課程(学校の教育計画)の改訂を進めています。このことと関連付けて全教職員で研究主題を設定した校内研究にも取り組んでいます。今年度は、研究の充実と個々の職員の授業力の向上を図るために全教職員が研究主題に沿った授業実践を参観する機会を設定しました。このことに関わっては、生徒を給食後に下校させるなどの措置もとったため御家庭にも影響があったと推察いたしますが、皆様の御理解によって実施が可能となりました。お蔭をもちまして充実した取組となりましたことに改めて感謝申し上げます。これからも本校の教育がより充実するよう全職員で努めてまいりますので御不明な点は勿論ですが、本校の教育活動に御意見や御要望などありましたら、是非お聞かせください。

今年もわずかとなりました。良い年をお迎えください。これまでの様々な御理解と御協力に改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

3学期の主な学校行事



1月15日(水)	第3学期始業式	2月26日(水)	卒業生を送る会
1月29日(水)	後期生徒総会	2月28日(金)	同窓会入会式
2月10日(月)	第1学年現場実習～14日	3月1日(土)	第10回卒業証書授与式
2月10日(月)	第2学年現場実習～21日	3月24日(月)	修了式、離任式
		3月25日(火)	学年末休業～31日



※本校では日々の活動の様子をホームページ<<http://www.chitosekoushi.hokkaido-c.ed.jp>>に掲載しています。右のQRコードからアクセスし、「千高支日記」をご覧ください。



～新しい形での学校祭～

教諭 高 橋 鋭二郎

11月15日、16日の2日間、第12回学校祭が開催されました。今年から発表の方法や販売&作品展の会場などいろいろと新しい形で取り組んだ学校祭でしたが、保護者のみならず多くの一般の方々にも御来校いただきました。

今回の学校祭のテーマは、「記憶に残る最高の思い出を作ろう！」で、各学年一致団結をして準備を進めました。日を追うごとに学校祭ムードに包まれていく校内で一人一人が少しずつ気持ちを高め向かっていきました。1日目の生徒会企画では、ゲームをみんなで楽しみました。大きな声で笑い合ったり、歓声を上げ楽しみ、キツネダンスを踊ったり、みんなでペンライトを持って芸能発表も盛り上がりしました。2日目の一般公開ではステージ発表や数年ぶりに事業所販売も再開し、たくさんの方に御来場いただく中で、生徒たちは練習してきた成果を十二分に発揮し、たくさんの経験と喜びを感じることができ、記憶に残る思い出ができました。

保護者の皆様、たくさんの拍手や御声援をいただき、また生徒たちの活動を暖かく見守っていただき、本当にありがとうございました。



1年生即売会

教諭 菊 地 祐 子

1年生は、毎年、学校祭で即売会を担当しております。即売会とはどんなものか？学校祭では、どんな活動をするのか？という事前学習から始まり、3つのグループに分かれて準備を進めてきました。段ボール箱に絵の具を塗り、会場入り口のアーチを制作したり、製品説明を一つ一つ手書きで作る仕事もありました。製品を並べる練習を何度も行ったり、お客さん役と販売する役に分かれて接客や会計の仕事がスムーズにできるようにしたりと、2週間の準備期間もあっという間に過ぎていきました。当日は、たくさんのお客様に恵まれ、あたたかい励ましの言葉もたくさんいただき感謝しております。



みんなで創ったワンナイトミステリー

教諭 水 野 直 子

ステージ発表の内容を決めるにあたり、生徒からアンケートを取りました。「お笑い」「カッコいいダンス」などいろいろな意見が出た中で、目を引いたのが「ホラーサスペンス」と言うことで、今年の2年生は「観ている人を怖がらせよう。」をテーマに「ワンナイトミステリー～ようこそこちらの世界へ～」という劇に取り組みました。脚本はこちらで用意して練習をスタートしましたが、「ダンスは自分たちで考えます。」「この動きは変えた方が良い。」「セリフを付け加えて良いですか？」など、斬新なアイデアがどんどん出てきます。昨年の劇の時は、少しでも変えようと対応するのに大変だったのに、今年はすぐに新しいアイデアに反応し、劇はどんどん面白く変わっていきました。そして、迎えた本番で、生徒達は、緊張しながらも、ステージを思いっきり楽しんで見えました。一つの劇を創っていく中で、多くの生徒が自分の意見や気持ちを表出すること、新しいことに取り組むこと、周りとの協力することなどにチャレンジできたと思います。御覧になったみなさん、如何でしたか？怖かったですよね？！たくさんの拍手と声援ありがとうございました。



最高の LAST ! !

教諭 森

淑 芳

学校生活最後の学校祭は、「自分たちで考え、仲間と協力をして作り上げる」ことをテーマに、企画では見学旅行で行った沖縄を再現した「めんそーれ！沖縄」を、ステージ発表では企画の宣伝やダンスを取り入れた「LAST ROCK FESTIVAL」を行いました。

学年企画では、店名や教室装飾などを生徒たちが意見を出し合い準備を進めていきました。ステージ発表では、準備の時間だけでなく、朝や昼、放課後の時間を利用して練習をするなど、仲間とできる最後の発表だということをそれぞれが感じながら、真剣に取り組む様子が見られました。

1年生の頃は映像中心での出演が精一杯だった生徒が、自分たちで考えてMCを務める、うまく踊れないと泣いていた生徒がセンターで堂々とダンスをする、自分たちで意見を出し合い協力して取り組むなど、3年間の成長を発揮してくれました。最高学年として、準備から素晴らしい姿を見せてくれたことに感謝の気持ちでいっぱいです。保護者の皆様、温かい御声援で一緒に最高の学校祭を作ってください、ありがとうございました。



1 学年第 1 回現場実習を終えて

教諭 秋 田

聡

「初めて体験する仕事内容だったけれど、最後まで休まずに頑張った」「お客様に聞かれたことにしっかりと受け答えができた」「もっと元気に挨拶をしなければいけなかった」など、現場実習を終えた事後学習では、それぞれの仕事内容を振り返って反省をし、自分の力や課題を見つけ出すことができました。

入学してから初めての現場実習。事前学習から事後学習までの約1か月半の貴重な体験を終えました。卒業後の進路を決めるために、現場実習は非常に大切な学習です。本校在学中に最低でも5回の現場実習に挑戦します。その経験を基に最終的な進路を決定することはもちろんですが、現場実習を経験するごとに生徒それぞれの個性が引き立ち、大人への成長を感じることができます。

高校生になったばかりのころには見られなかった、「高校を卒業したら、働いて社会の一員になる」という意識がどんどん芽生え始めています。3年間という期間はあっという間です。生徒たちの成長に置いて行かれないように、保護者の意識改革も必要になってきますね。

《 実習先 》

C I C 研究所
千歳ふくろうの園
千歳科学技術大学
スーパーアークス長都店
恵千フーズ
ホテルルートイン千歳駅前





2年現場実習

教諭 向 かおり

9月30日から10月11日までの10日間、第2回現場実習が行われました。6月に実施された第1回現場実習に続き、2学年では、自己理解を深め、経験の幅を広げることを目標に取り組んできました。

初めは緊張しながらも、それぞれの目標に向かって、一生懸命努力する生徒の皆さん。そして実習終了後には、自信や達成感に満ちた表情で登校してくれました。

現在は、2度の実習の内容を整理し、自分自身の適性を考えたり、目標達成に向けて自己の課題を見直したりと、進路学習を更に深めているところです。

希望の進路を実現するためには、これからが勝負です。自分自身をさらに成長させる意識を持ちながら、気持ちを切らさず、努力を続けていきましょう。

《実習先》

HALサーブ スポーツゼビオ ヤマト運輸
キックマン 松尾ジギスカン イオン千歳店
コープさっぽろ北広島店 メビウス あそしえ
テクレア千歳 そだてらす エコ・ファクトリー
パン工房ゆみな サークルエイト 小春日工房
ミナモト フライトカレッジ千歳 アルドール
晴レルモキッチン



3年前提実習

教諭 神 上 祐 子

卒業後に進む道は一人一人異なりますが、3年生は4月から前提実習に向けて、準備をしてきました。9月～10月にかけて最大4週間の実習を真面目に一生懸命取り組み、実習先からは「すぐにでも来てほしい」「一生懸命さが伝わる」など、たくさんの良い評価をいただきました。普段の学校生活を見ていると本当に素直で真面目です。何事も一生懸命な良い一面が実習先の方々にも伝わったのだと思います。

生徒達には、挨拶や返事などの「当たり前の事」が普段の学校生活でできていなければ、外に出た時にもできないと話してきました。社会に出た時に、まず大事なのは、このような「当たり前の事」です。多くの3年生は実習前になると、必ず不安要素の一つとしてコミュニケーションをあげていますが、そこでも、まずは「当たり前の事」の実践が大事になります。その事を理解し、普段から、そして実習中も実践し、ほめていただけたことが多かったです。これからは、卒業までの限られた期間をどのように過ごすか、社会人になるために何をすべきかを考え、常に目標を持ち続けてほしいと思います。

《実習先》

ほんま恵庭工場 北海道建設サービス
スーパーアークス千歳店 北海道ロジサービス
ANA新千歳空港 苫小牧王子紙業
山崎製パン札幌工場 トヨタカローラ札幌
M&H北海道 クレザ Om-net ピアハーブ
ワーククラフト恵庭 ミナモト

